



神戸学院大学

2023 年 7 月

男女共同参画ニュース 第 46 号

第 5 回「神戸学院大学 森わさ賞」候補者を募集します～ぜひご応募・ご推薦ください～

校祖森わさ先生の志を継承し、本学の建学の精神「真理愛好・個性尊重」に基づいて、研究、教育又は社会における活動において優れた功績をあげた女性の教職員・卒業生・修了生を表彰する「森わさ賞」の候補者を募集します。

自薦・他薦の別、年齢は問いません。ぜひご応募・ご推薦ください。

詳細は、男女共同参画推進室HPをご覧ください。

◆対象：女性の本学専任教職員もしくは卒業生・修了生で、研究、教育又は社会における活動のいずれかにおける功績が認められる方

◆メ切：2023 年 11 月 30 日(木)15:00

◆申し込み：下記より推薦書をダウンロードのうえ、男女共同参画推進室までお送りください。



大学 HP> 男女共同参画男女共同参画推進への取り組み> 「第 5 回 神戸学院大学 森わさ賞」候補者募集について

<https://www.kobegakuin.ac.jp/information/kyodo_sankaku/torikumi/moriwasa_prize.html>



森わさ先生

2023 年度 第 1 回「学長カフェ」を開催しました

中村学長を迎え、今年度 1 回目の学長カフェを実施しました。今回は久しぶりにお茶とお菓子を用意し、和やかな雰囲気で行うことができました。参加者からは子育て・介護に関する制度から祝日授業日や雇用制度について、またゴミ捨てなどの本学のマナーについてまで多岐にわたる意見が学長に寄せられました。学長はそれぞれの意見についてメモをとりながら傾聴され、ご自身の経験も踏まえて回答されていました。また同席された山木法人事務局長も、変えられる部分とすぐには変えられない部分とを分けてお話しされ、積極的に情報を共有してくださいました。

一方で参加者から本学の魅力や満足している点など肯定的な意見についても発信がありました。学長からは「本学の魅力を伝えていくためのアイディアは常に募集していて、ぜひ私まで届けてほしい」とお話しされました。



男女共同参画ライブラリー便り

KPC I・D 号館 4F の男女共同参画推進室には、約 500 冊の男女共同参画やジェンダー関連の蔵書があります。今回は、『論点・ジェンダー史学』（2023 年、ミネルヴァ書房）をご紹介します。本著は、113 の論点からジェンダー史を読み解くことができる構成で、誰の興味・関心にも応える充実した内容になっています。本学からは人文学部の中山文先生、GC 学部の大濱慶子先生が、それぞれ中国の「映画・演劇」「改革開放と女性」の項を執筆されています。ぜひお手にとってみてください。



男女共同参画週間記念フォーラムを配信しています：6 月 27 日より

兵庫県経営者協会女性産業人懇話会（VAL21）と協働し、「働くことのダイバーシティ女性活躍する企業の取り組みから学ぶ」をテーマに開催しました。

明石海峡大橋を通る神戸淡路鳴門自動車道などの維持管理にあたる「本州四国連絡高速道路株式会社」の南谷知美さんは、自社の取り組みを説明しながらコロナ禍で働き方改革が進んだと話しました。神戸発祥の洋菓子製造・販売で知られる「モロゾフ株式会社」の中川聖子さんは、ご自身のキャリアを振り返りながら「管理職を目指す女性、目指せる女性を増やしたい」と話しました。参加した学生からは質問が続き、大変活気のあるフォーラムとなりました。

学生・教職員を対象にオンデマンドで配信しています。視聴を希望される方はご連絡ください。

オンライン・ランチタイム・ミーティングを開催しました

7 月 21 日にメイン会場を初めて KAC にし、オンラインとのハイブリッド形式にて実施しました。本学に着任されたばかりの教職員も初参加していただき、新鮮なメンバーが多く参加する会となりました。「多様性」や「パートナーシップ制度」等の昨今話題になっていることについて各参加者が自身の身近な話題から意見交換を行いました。また会の後半では上谷聡子先生によるストレッチ講座が実施され、正しい肩の位置を確認することからスタートし日常に取り入れられるストレッチ運動についてレクチャーがありました。



神戸学院大学 男女共同参画推進室

住 所 神戸市中央区港島 1 丁目 1 番地 3

電 話 078-974-1551 (代表) 内線 84453
078-571-0927 (直通)

メール danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp